

平成 21 年 4 月

「高島屋東京店」重要文化財指定のお知らせ

株式会社高島屋が所有する「高島屋東京店」が、平成 21 年 4 月 17 日(金)に開催された文化審議会の答申を受け、近日中に行われる官報告示を経て、重要文化財の指定を受ける運びとなりました。

百貨店建築としては、初めての重要文化財指定となります。

高島屋東京店は、「意匠的に優秀なもの」として評価を頂いており、「西欧の歴史様式に日本的な要素を加味した高橋貞太郎による当初設計部分と、近代建築の手法を駆使した村野藤吾の設計による増築部分から成り立っており、その全体が一体不可分の建築作品として完成度が高く、わが国の百貨店建築を代表するものの一つとして重要である」と評されております。

当社は、百貨店建築として初めて重要文化財の指定を受けた意義を十分に認識し、将来にわたり建物の保存活用に努めてまいります。

また、ご来店頂くお客様に今まで以上にショッピングと建物の文化的価値の両面を楽しんで頂けるよう新たな取り組みをしております。

高島屋東京店(本館)について

< 建造物概要 >

鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 8 階建・地下 3 階建で、塔屋を設け、間口約 65m、奥行約 115mの規模を有する。

< 特徴 >

・高橋貞太郎による当初設計部分の特徴 (1933 年竣工)

西欧の歴史様式に日本的な要素を加味した庇・柱頭・装飾が随所に見られる典型的な和洋折衷様式。ルネサンス基調と東洋趣味が融合した三層構成の外壁(中央通側)、西側正面口・1～2 階吹抜部分の柱・格天井・石膏彫刻、各階エレベーターホール壁面(1～6 号機)、屋上の和風庭園などは 1933 年竣工当初の姿を今日も留めている。

・村野藤吾による増築部分の特徴 (1952～1965 年竣工)

近代建築の手法を駆使しながらも、既存館の規則的なデザイン要素を引用するなど、建物全体の一体性を確保。大胆に用いられたガラスブロック壁、彫刻的造型の屋上の搭屋など近代建築の新たな流れを示すものとして、独特で創造的な表現を現在まで伝えている。

< 歴史 >

1933 年	高島屋東京店本館(旧日本生命館)竣工 設計：高橋貞太郎 日本の百貨店で初めての全館冷暖房完備
1952 年	第 1 期増築竣工 設計：村野藤吾
1954 年	第 2 期増築竣工 設計：村野藤吾
1963 年	第 3 期増築竣工 設計：村野藤吾 日本の百貨店で初めての屋上パーキング完成
1965 年	第 4 期増築竣工 設計：村野藤吾
2002 年	耐震改修促進法に基づく国土交通大臣の認定取得
2006 年	東京都選定歴史的建造物に指定

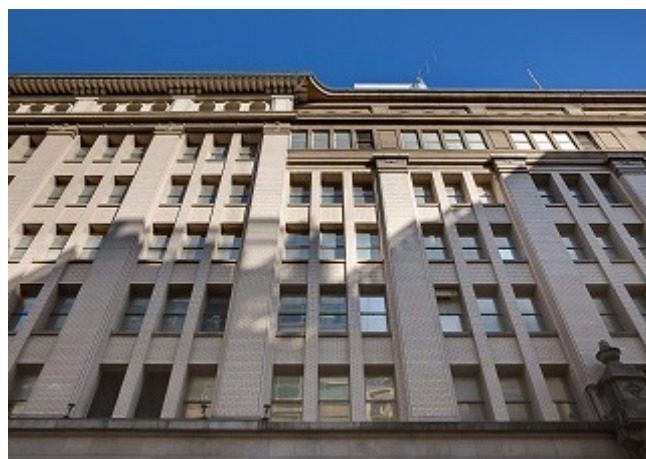
【現在の高島屋東京店(本館)】



1933年建築部分(旧日本生命館)設計:高橋貞太郎



1963年第3期増築部分 設計:村野藤吾



1933年建築部分(写真左側)と、1952年第1期増築部分(写真右側)の融合部分



1933年建築部分の1・2階吹抜と西側正面口

